

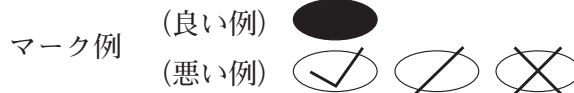
令和6年度（令和5年度実施）  
高知県公立学校教員採用候補者選考審査  
筆記審査（専門教養）

中学校 高等学校 特別支援学校 中学部・高等部  
音楽

受審番号		氏 名	
------	--	-----	--

**【注意事項】**

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は2枚あります。切り離さないでください。
- 3 解答用紙（マークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。  
○ 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。



- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

受 審 番 号				
万	千	百	十	一
1	2	3	4	5
○	○	○	○	○
●	○	○	○	○
○	●	○	○	○
○	○	●	○	○
○	○	○	●	○
○	○	○	○	●

記入例

(受審番号12345の場合)

- 4 この問題は、【共通問題】、及び【選択問題 中学校】、【選択問題 高等学校】、【選択問題 特別支援学校】の各問題から構成されています。選択問題で受審種別以外の問題を選択して解答した場合、解答は全て無効となります。

※本冊子の裏表紙に、【注意事項】の続きが記載されています。本冊子を裏返して、必ず読んでください。まだ、問題冊子は開かないでください。



## 【共通問題】

第1問 次の1～4の問いに答えなさい。

1 音程に関して、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 次の楽譜に示す音程を、下のa～dから一つ選びなさい。



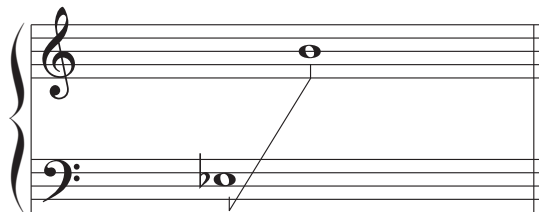
a 完全8度      b 減8度      c 増8度      d 重増8度

(2) 次の楽譜に示す音程を、下のa～dから一つ選びなさい。



a 重減6度      b 減6度      c 短6度      d 長6度

(3) 次の楽譜に示す音程を、下のa～dから一つ選びなさい。

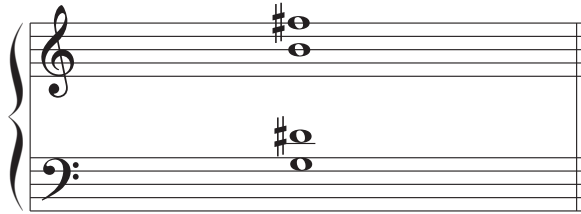


a 1オクターブと減5度  
b 1オクターブと短5度  
c 1オクターブと長5度  
d 1オクターブと増5度

2 和音・コードネームに関して、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 次の楽譜に示す和音は何調の何度の和音か、下のa～dから一つ選びなさい。

エ



- a イ短調のⅦ<sub>7</sub>の和音                      b ホ短調のⅢ<sub>7</sub>の和音  
c ロ長調のⅠ<sub>7</sub>の和音                      d ヘ短調のⅡ<sub>7</sub>の和音

(2) 次のコードネームで表される和音を、下のa～dから一つ選びなさい。 オ

B<sup>b</sup>m<sub>7</sub>



(3) 次のコードネームで表される和音を、下のa～dから一つ選びなさい。 カ

Eadd<sub>9</sub>



3 調性に関して、次の(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) ♯短調の同主調の下属調を、次のa～dから一つ選びなさい。

a ニ長調            b 変ホ長調            c ハ長調            d 変ロ長調

(2) 次の楽譜に示す3つの音を含む音階を、下のa～dから一つ選びなさい。



a ♯短調の旋律的短音階（上行形）            b ニ長調（長音階）  
c 変イ長調（長音階）            d 嬰ハ短調の和声的短音階

(3) 次に示す楽譜をh-mollからd-mollに移調した楽譜として適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

(4) 次に示した楽曲の一部は、何調から何調へ転調しているか、下の a～d から一つ  
選びなさい。

- a イ長調からホ長調
- c イ長調から嬰へ短調

- b ホ長調から嬰ハ短調
- d ホ長調からイ長調

4 音楽用語等に関して、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1) ヴァイオリンなどの特殊奏法で「弓の背の木部で弦を叩くように奏すること」を意味する音楽用語を、次のa～dから一つ選びなさい。

- a flageolet      b arco      c pizzicato      d col legno

(2) 速度に関する用語のうち、「ritardando」と同じ意味をもつものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a allargando      b rallentando      c accelerando      d L'istesso tempo

(3) 「con fuoco」の意味として適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 愛情をこめて      b あわれみをもって  
c 熱情をこめて      d 表情豊かに

(4) 「生き生きと」を意味する音楽用語を、次のa～dから一つ選びなさい。

- a con brio      b arioso      c tranquillo      d elegiaco

(5) 次に示した反復記号にしたがって演奏した場合、どのような順番で演奏することになるか。各小節に付された番号を正しく並べたものを、下のa～dから一つ選びなさい。

The musical notation shows a first ending (measures 1-4) and a second ending (measures 5-9). The first ending has a repeat sign after measure 2. The second ending has a repeat sign after measure 7. The word "bis" is written above measures 7-8. The piece ends with "Fine" and "D.S. senza replica".

- a ①②①②③④③⑤⑥⑦⑧⑦⑧⑦⑧⑨③⑤⑥  
b ①②①②③④③⑤⑥⑦⑧⑦⑧⑨③⑤⑥  
c ①②①②③④③⑤⑥⑦⑧⑦⑧⑦⑧⑨③④③⑤⑥  
d ①②①②③④③⑤⑥⑦⑧⑦⑧⑨③⑥

25の6

第2問 次の楽譜は、ある楽曲の一部である。この楽曲に関して (1) ~ (6) の問いに答えなさい。



- (1) この楽曲の作曲者名と楽曲名との組み合わせとして正しいものを，次の a～d から一つ選びなさい。

<作曲者名>

<楽曲名>

- |   |             |                     |
|---|-------------|---------------------|
| a | L.v.ベートーヴェン | 交響曲第9番ニ短調《合唱付き》第1楽章 |
| b | W.A.モーツァルト  | 歌劇《フィガロの結婚》序曲       |
| c | J.ブラームス     | 大学祝典序曲              |
| d | C.M.v.ヴェーバー | 歌劇《魔弾の射手》序曲         |

(2) この楽譜において、3小節目の  で囲った非和声音の名称として適切であるものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 刺繍音（補助音）                      b 経過音  
c 逸音                                      d 掛留音

(3) この楽譜において、フルートとクラリネットの9小節目（ で囲った部分）は何調の何度の和音か。適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a イ長調のⅣの和音                      b 変ロ長調のⅤの和音  
c ニ長調のⅠの和音                      d ヘ長調のⅠの和音

(4) この楽譜において、16～18小節にかけての終止形（ で囲った部分）として適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 偽終止                      b 変（格）終止                      c 半終止                      d 完全終止

(5) この楽曲の説明として適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 皇帝によって上演禁止となっていた風刺喜劇をあえて取り上げ、オペラ化した作品の序曲。内容は『セビリヤの理髪師』の後日談で、オペラ・ブッフアの人気作である。
- b ドイツ音楽におけるロマン的精神を象徴する作品の一つ。序曲は、オペラの中の主要主題を用い劇的な雰囲気をつくりだしている。
- c 作曲者は、ブレスラウ大学哲学部から名誉博士の称号を贈与されたことへの謝意を込めて、翌年にこの曲を完成させた。序曲としての楽式を重んずることなく作曲された。
- d この曲の第4楽章の歌詞は、18世紀のドイツを代表する詩人フリードリヒ・フォン・シラーの『歓喜に寄す』に基づいている。

(6) この楽曲の作曲家と異なる国で生まれた作曲家を、次の a～d から一つ選びなさい。

- a F.シューベルト  
b J.ハイドン  
c J.シュトラウス2世  
d A.ヴァイマル





第3問 次の1・2の問いに答えなさい。

- 1 次の楽譜は、ある楽曲の一部である。この楽曲に関して(1)～(4)の問いに答えなさい。

- (1) この楽曲の作詞者と作曲者との組み合わせとして正しいものを、次のa～dから一つ選びなさい。

	<作詞者>	<作曲者>
a	武島羽衣	滝廉太郎
b	江間章子	中田喜直
c	土井晩翠	滝廉太郎
d	林 古溪	成田為三

- (2) この楽譜の①～⑤に該当する強弱記号の組み合わせとしてふさわしいものを、次のa～dから一つ選びなさい。

	①	②	③	④	⑤
a	<b><i>f</i></b>	<b><i>mp</i></b>	<b><i>mf</i></b>	<b><i>f</i></b> 	<b><i>p</i></b>
b	<b><i>f</i></b>	<b><i>mf</i></b>	<b><i>mp</i></b>	<b><i>mf</i></b> 	<b><i>mp</i></b>
c	<b><i>pp</i></b>	<b><i>mp</i></b>	<b><i>p</i></b>	<b><i>mf</i></b> 	<b><i>p</i></b>
d	<b><i>pp</i></b>	<b><i>mf</i></b>	<b><i>mp</i></b>	<b><i>f</i></b> 	<b><i>pp</i></b>

(3) この楽譜の⑥に該当する2番の歌詞はどれか。次のa～dから一つ選びなさい。

ウ

- a はなのなかに そよそよと
- b しゃくなげいろに たそがれる
- c まなこつぶれば なつかしい
- d きりのなかに うかびくる

(4) この楽曲の作曲者が作った曲を、次のa～dから一つ選びなさい。

エ

- a 花の街
- b おぼろ月夜
- c 花
- d 雪の降るまちを

2 次の(1)～(6)の問いに答えなさい。

(1) 四国4県にある民謡と県名との組み合わせが正しくないものを、次のa～dから一つ選びなさい。

	<民謡>	<県名>
a	「宇和島さんさ」	愛媛県
b	「金毘羅船々」	香川県
c	「祖谷の粉ひき歌」	徳島県
d	「磯節」	高知県

(2) 「都節音階」を用いている民謡はどれか、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 南部牛追い歌
- b ソーラン節
- c こきりこ節
- d 谷茶前

(3) 「京劇」の説明について正しいものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 『ラーマーヤナ』などの叙事詩を題材とした舞踊劇。音楽は、歌と打楽器からなり、踊りに合わせたリズムカルなアンサンブルが繰り上げられる。
- b 音楽と舞踊、芝居の要素を合わせもつ中国の伝統芸能の一つ。役柄のタイプによって特徴的な発声法が使い分けられる。
- c 神々の物語を上演する宗教劇。大人の音楽家の語りと楽器による伴奏にのせて、少年たちが神にまつわる物語を演じる。
- d 江戸時代に始まった、芝居と踊り、音楽からなる総合的な演劇である。劇場は花道や廻り舞台などの機構も備え、大衆的な娯楽として親しまれてきた。

- (4) 次の文は、オペラの説明文である。文中の ( ① ) ~ ( ③ ) に該当する正しい組み合わせを、下の a ~ d から一つ選びなさい。

オペラの誕生は1600年頃、イタリアの ( ① ) といわれています。序曲や間奏曲といった器楽部分と、独唱曲である ( ② )、二重唱、合唱など様々な形態の歌から構成されています。歌の前後には ( ③ ) という、歌とセリフの中間的な部分が置かれ、音楽が切れ目なく上演されるのが特徴です。

- |   | ①      | ②      | ③        |
|---|--------|--------|----------|
| a | ローマ    | ベル・カント | オペレッタ    |
| b | ミラノ    | アリア    | オペレッタ    |
| c | ナポリ    | ベル・カント | レチタティーヴォ |
| d | フィレンツェ | アリア    | レチタティーヴォ |

- (5) ミュージカルナンバーと作品名との組み合わせとして正しいものを、次の a ~ d から一つ選びなさい。

- |   | <ミュージカルナンバー> | <作品名>          |
|---|--------------|----------------|
| a | トゥナイト        | マイ・フェア・レディ     |
| b | 一晩中踊れたら      | サウンド・オブ・ミュージック |
| c | 民衆の歌         | レ・ミゼラブル        |
| d | すべての山に登れ     | ウェスト・サイド物語     |


- (6) ヴェルディのオペラ作品ではないものを、次の a ~ d から一つ選びなさい。

- a 椿姫
- b トスカ
- c リゴレット
- d アイーダ

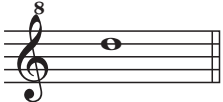
第4問 次の(1)～(9)の問いに答えなさい。

(1) 楽譜に示す音とアルトリコーダーの運指の組み合わせが正しくないものを、次のa～dから一つ選びなさい。 ア


a




b



c



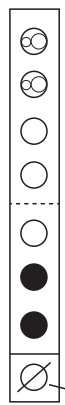
d



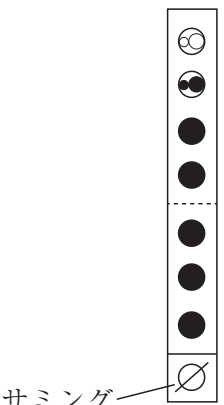
7	○		○		○		○
6	○		○		○		○
5	○		○		○		○
4	○		○		○		○
3	○		○		○		○
2	●		○		○		○
1	●		○		○		○
親指 0	○		○		○		○

吹き口  
↓

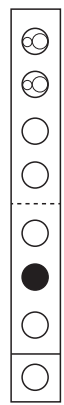
b



c

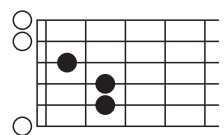


d

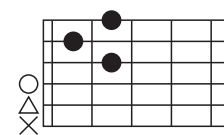


(2) コードネームとギターのダイアグラムの組み合わせで正しいものを、次のa～dから一つ選びなさい。 イ

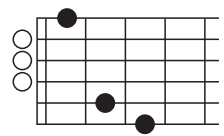
a Em



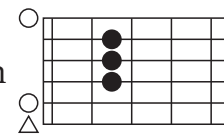
b D7



c G



d Am



○…開放弦      ×…弾かない弦      △…弾かなくてもよい弦

- (3) 次の文は、パイプオルガンの説明文である。文中の ( ① )・( ② ) に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の a～d から一つ選びなさい。

ウ

パイプオルガンの鍵盤の横には「( ① )」と呼ばれる装置があります。これを利用して鳴らすパイプを選ぶことにより、( ② ) を変化させることができます。

- |   | ①    | ②  |
|---|------|----|
| a | ペダル  | 音色 |
| b | ストップ | 音色 |
| c | ペダル  | 強弱 |
| d | ストップ | 強弱 |

- (4) 次の①～④の「作品名」(作曲者) が古い時代順に並んでいるものを、下の a～d から一つ選びなさい。 エ

- ① 「ヴァイオリン協奏曲 ホ短調」(F.メンデルスゾーン)
- ② 「2台のピアノのためのソナタ ニ長調」(W.A.モーツァルト)
- ③ 「ブランデンブルク協奏曲 第2番」(J.S.バッハ)
- ④ 「管弦楽組曲『ペレアスとメリザンド』からシシリエンヌ」(G.フォーレ)

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| a ③ → ② → ① → ④ | b ③ → ② → ④ → ① |
| c ② → ① → ④ → ③ | d ② → ① → ③ → ④ |

- (5) スティーヴ・ライヒの作品の最も特徴的な表現方法について述べたものを、次の a～d から一つ選びなさい。 オ

- a オクターブ内の12音を平等に扱う音列技法による「12音音楽」。
- b 日常で聞こえるさまざまな音を具体的な音響として機械的に合成し、再構成する「ミュージック・コンクレート(具体音楽)」。
- c 音楽を構成する要素の全てを作曲者が確定せず、演奏者や環境などに委ねるといふ「偶然性・不確定性の音楽」。
- d 一定の音型パターンを微妙に変化させながら反復することによって、独特の音響空間を作り出す「ミニマル・ミュージック」。

- (6) 世界の諸民族の音楽で使われる楽器として、音を出す仕組みの異なるものを、次の a～d から一つ選びなさい。 カ

- |       |        |      |          |
|-------|--------|------|----------|
| a ウード | b ピーパー | c 琵琶 | d サンポーニャ |
|-------|--------|------|----------|



(7) 郷土の音楽に用いられる楽器名と都道府県名の組み合わせとして正しいものを、次のa～dから一つ選びなさい。

	<楽器名>	<都道府県名>
a	こきりこ	富山県
b	三線	青森県
c	ムックリ	鹿児島県
d	パーランクー	北海道

(8) 次の写真にある①～④に該当する箏の各部の名称の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

	①	②	③	④
a	竜尾	竜角	竜舌	雲角
b	竜頭	竜角	竜舌	雲角
c	竜尾	柱	竜角	竜頭
d	竜頭	柱	竜角	竜尾

(9) 我が国の伝統的な芸能（能，歌舞伎，文楽，雅楽）における代表的な作品の組み合わせとして正しいものを、次のa～dから一つ選びなさい。

	<能>	<歌舞伎>	<文楽>	<雅楽>
a	仮名手本忠臣蔵	京鹿子娘道成寺	曾根崎心中	羽衣
b	敦盛	勧進帳	新版歌祭文	越天楽
c	道成寺	義経千本桜	鹿の遠音	陵王
d	万歳楽	巢鶴鈴暮	船弁慶	高砂

## 【選択問題 中学校】

第5問 平成29年3月告示の中学校学習指導要領 音楽について、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、「第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕 1 目標」である。  
 ( ① ) ～ ( ④ ) に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の ( ① ) について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を ( ② ) に評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、( ③ ) に親しむとともに、音楽によって ( ④ ) を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

- |   |       |        |        |      |
|---|-------|--------|--------|------|
| a | ① 多様性 | ② 自分なり | ③ 音楽文化 | ④ 生活 |
| b | ① 多様性 | ② 客観的  | ③ 音楽文化 | ④ 社会 |
| c | ① 芸術性 | ② 自分なり | ③ 芸術文化 | ④ 社会 |
| d | ① 芸術性 | ② 客観的  | ③ 芸術文化 | ④ 生活 |

- (2) 次の文は、「第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕2 内容 A 表現 (3)」の事項の一部である。( ① ) ~ ( ③ ) に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の a ~ d から一つ選びなさい。

(3) 創作の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア (略)

イ 次の (ア) 及び (イ) について、表したいイメージと関わらせて理解すること。

(ア) 音の ( ① ) の特徴

(イ) ( ② ) の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴

ウ 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った ( ③ ) や組合せなどの技能を身に付けること。

- |   |         |       |         |
|---|---------|-------|---------|
| a | ① つながり方 | ② 旋律  | ③ 楽器の選択 |
| b | ① ひびき方  | ② 音素材 | ③ 楽器の選択 |
| c | ① つながり方 | ② 音素材 | ③ 音の選択  |
| d | ① ひびき方  | ② 旋律  | ③ 音の選択  |

- (3) 次の文は、「第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕2 内容 B 鑑賞 (1)」の事項の一部である。( ① ) ~ ( ③ ) に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の a ~ d から一つ選びなさい。

(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(ウ)までについて考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。

(ア) 曲や演奏に対する ( ① ) とその根拠

(イ) 生活や社会における音楽の ( ② ) や役割

(ウ) ( ③ ) の共通性や固有性

イ (略)

- |   |      |      |        |
|---|------|------|--------|
| a | ① 評価 | ② 機能 | ③ 生活文化 |
| b | ① 評価 | ② 意味 | ③ 音楽表現 |
| c | ① 批評 | ② 意味 | ③ 生活文化 |
| d | ① 批評 | ② 機能 | ③ 音楽表現 |

- (4) 次の文は、「第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2 (1) エ」の事項である。  
 ( ① ) ~ ( ③ ) に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の a ~ d から一つ選びなさい。

エ 生徒が様々な ( ① ) を関連付けて音楽への理解を深めたり、( ② ) に学習に取り組んだりすることができるようにするため、( ③ ) や教育機器を効果的に活用できるよう指導を工夫すること。

- |   |      |       |          |
|---|------|-------|----------|
| a | ① 感性 | ② 協働的 | ③ ICT    |
| b | ① 感性 | ② 主体的 | ③ コンピュータ |
| c | ① 感覚 | ② 協働的 | ③ ICT    |
| d | ① 感覚 | ② 主体的 | ③ コンピュータ |

- (5) 次の文は、「第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2 (6)」の事項である。  
 ( ① ) ~ ( ③ ) に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の a ~ d から一つ選びなさい。

(6) 我が国の伝統的な歌唱や和楽器の指導に当たっては、( ① ) との関係、( ② ) の使い方についても配慮するとともに、適宜、( ③ ) を用いること。

- |   |          |         |                             |
|---|----------|---------|-----------------------------|
| a | ① 言葉と音楽  | ② 楽譜    | ③ 動画                        |
| b | ① 諸外国の音楽 | ② 楽譜    | ③ <small>くちしょうが</small> 口唱歌 |
| c | ① 言葉と音楽  | ② 姿勢や身体 | ③ <small>くちしょうが</small> 口唱歌 |
| d | ① 諸外国の音楽 | ② 姿勢や身体 | ③ 動画                        |

## 【選択問題 高等学校】

第5問 平成30年3月告示の高等学校学習指導要領 芸術 音楽Ⅰについて、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、「1 目標」の一部である。( ① )～( ④ )に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。 ア

- (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の( ① )について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) ( ② )のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、( ③ )に親しみ、音楽によって( ④ )を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

- |   |       |      |        |         |
|---|-------|------|--------|---------|
| a | ① 多様性 | ② 個々 | ③ 芸術文化 | ④ 社会や未来 |
| b | ① 芸術性 | ② 個々 | ③ 音楽文化 | ④ 生活や社会 |
| c | ① 芸術性 | ② 自己 | ③ 芸術文化 | ④ 社会や未来 |
| d | ① 多様性 | ② 自己 | ③ 音楽文化 | ④ 生活や社会 |

- (2) 次の文は、「2 内容 B 鑑賞 (1) 鑑賞」の事項の一部である。( ① ) ~ ( ③ ) に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の a ~ d から一つ選びなさい。

## (1) 鑑賞

鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の (ア) から (ウ) までについて考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くこと。

(ア) 曲や演奏に対する ( ① ) とその根拠

(イ) 自分や社会にとっての音楽の ( ② )

(ウ) ( ③ ) の共通性や固有性

- |   |      |         |        |
|---|------|---------|--------|
| a | ① 評価 | ② 機能や価値 | ③ 生活文化 |
| b | ① 評価 | ② 意味や価値 | ③ 音楽表現 |
| c | ① 批評 | ② 意味や価値 | ③ 生活文化 |
| d | ① 批評 | ② 機能や価値 | ③ 音楽表現 |

- (3) 次の文は、「2 内容 A 表現 (2) 器楽」の事項の一部である。( ① ) ~ ( ③ ) に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の a ~ d から一つ選びなさい。

## (2) 器楽

器楽に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア (略)

イ (略)

ウ 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、次の (ア) から (ウ) までの技能を身に付けること。

(ア) 曲にふさわしい奏法, ( ① ) の使い方などの技能

(イ) ( ② ) との調和を意識して演奏する技能

(ウ) ( ③ ) の特徴を生かして演奏する技能

- |   |      |      |        |
|---|------|------|--------|
| a | ① 身体 | ② 周囲 | ③ 曲    |
| b | ① 楽器 | ② 周囲 | ③ 表現形態 |
| c | ① 身体 | ② 他者 | ③ 表現形態 |
| d | ① 楽器 | ② 他者 | ③ 曲    |

- (4) 次の文は、「3 内容の取扱い (1)」の事項である。( ① ) ~ ( ③ ) に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の a ~ d から一つ選びなさい。

エ

(1) 内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導については、( ① ) との関連を十分に考慮し、それぞれ ( ② ) のみに偏らないようにするとともに、必要に応じて、( ③ ) を要として各領域や分野の関連を図るものとする。

- |            |         |          |
|------------|---------|----------|
| a ① 中学校音楽科 | ② 特定の活動 | ③ [共通事項] |
| b ① 中学校音楽科 | ② 音楽    | ③ 芸術     |
| c ① 他教科    | ② 特定の活動 | ③ 芸術     |
| d ① 他教科    | ② 音楽    | ③ [共通事項] |

- (5) 次の文は、「3 内容の取扱い (7)」の事項である。( ① ) ~ ( ③ ) に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の a ~ d から一つ選びなさい。

オ

(7) 内容の「A表現」の (3) の指導に当たっては、( ① ) に音を出しながら音の ( ② ) を試すなど、音を音楽へと構成することを重視するとともに、作品を ( ③ ) する方法を工夫させるものとする。

- |         |         |      |
|---------|---------|------|
| a ① 主体的 | ② つながり方 | ③ 発表 |
| b ① 即興的 | ② 聴こえ方  | ③ 発表 |
| c ① 主体的 | ② 聴こえ方  | ③ 記録 |
| d ① 即興的 | ② つながり方 | ③ 記録 |

## 【選択問題 特別支援学校】

第5問 次の1～4の問いに答えなさい。

1 次の表は、令和4年12月13日に文部科学省により示された「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果について」に関するものである。

(1) 小学校・中学校の「学習面又は行動面で著しい困難を示す」児童生徒の割合として、に当てはまる正しい数値を、下のa～eから一つ選びなさい。

<小学校・中学校>

	推定値
学習面又は行動面で著しい困難を示す	<input type="text" value="ア"/> %

a 4.6    b 6.5    c 7.3    d 8.8    e 10.3

(2) 学校種別ごとの「学習面又は行動面で著しい困難を示す」児童生徒の割合として、～に当てはまる正しい数値を、下のa～eから一つ選びなさい。

	推定値			
	学習面又は行動面で著しい困難を示す	A	B	C
小学校	<input type="text" value="イ"/> %	7.8%	4.7%	2.0%
中学校	<input type="text" value="ウ"/> %	3.7%	2.6%	1.1%
高等学校	<input type="text" value="エ"/> %	1.3%	1.0%	0.5%

※ A：「学習面で著しい困難を示す」、B：「不注意」又は「多動性－衝動性」の問題を著しく示す、C：「対人関係やこだわり等」の問題を著しく示す」

a 0.9    b 2.2    c 5.6    d 8.2    e 10.4



- 2 次の文は、令和5年3月に文部科学省より示された「通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援に係る方策について（通知）」の一部である。文中の  ～  に当てはまる語句を、下の a～d からそれぞれ一つ選びなさい。

この度、文部科学省の下に設置された「通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援の在り方に関する検討会議」において、令和5年3月13日に報告が取りまとめられました。

(中略)

具体的には、

- ・ 校長のリーダーシップの下、特別な教育的支援を必要とする児童生徒の実態を適切に把握し、適切な指導や必要な支援を組織的に行うための  を充実させること
- ・ 児童生徒が慣れた環境で安心して通級による指導を受けられるように  や巡回指導をはじめとする通級による指導を充実させること
- ・ 通級による指導を担当する教師等の専門性の向上を図ること
- ・ 高等学校における通級による指導の実施体制を充実させること
- ・ 特別支援教育に関する専門的な知見や経験等を有する特別支援学校における小中高等学校等への指導助言等の  を充実させること
- ・ よりインクルーシブで多様な教育的ニーズに柔軟に対応するため、特別支援学校を含めた2校以上の学校を一体的に運営するインクルーシブな学校運営モデルを創設すること

などについて提言されています。

- |           |                 |
|-----------|-----------------|
| a 多様な学びの場 | b カリキュラム・マネジメント |
| c 学校運営協議会 | d 校内支援体制        |

- |           |        |
|-----------|--------|
| a グループ別指導 | b 自校通級 |
| c 他校通級    | d 個別指導 |

- |             |           |
|-------------|-----------|
| a カウンセリング機能 | b 一貫した支援  |
| c 継続的な支援    | d センターの機能 |

- 3 次の文は、特別支援学校学習指導要領解説（平成30年3月）各教科等編（小学部・中学部）第4章 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科 第2節 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校における指導の特徴について 3 指導の形態についての記述の一部である。文中の  ～  に該当する語句を、下の a～d からそれぞれ一つ選びなさい。

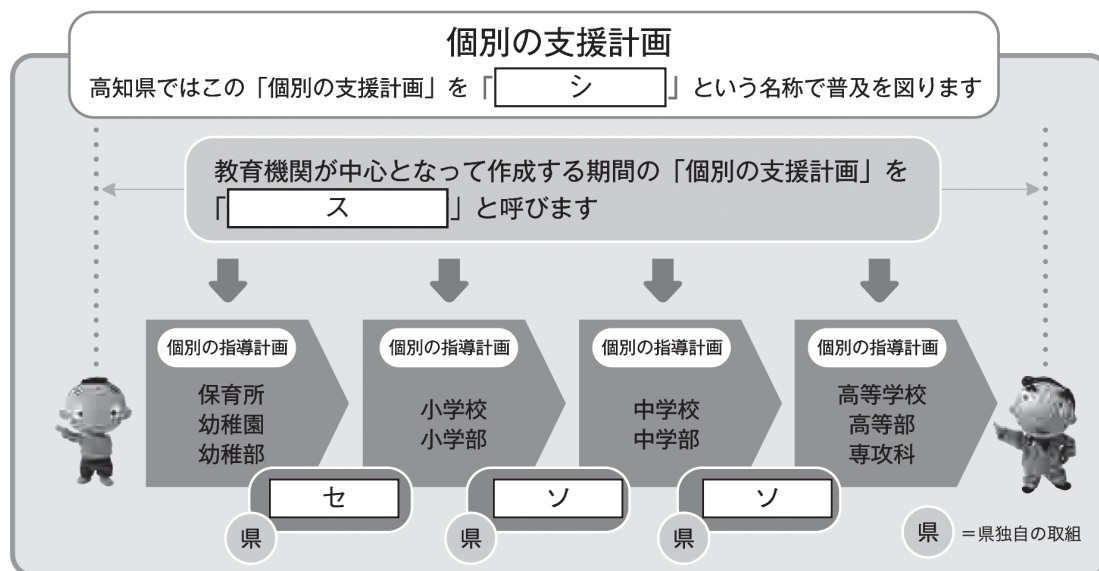
知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校においては、児童生徒の学校での生活を基盤として、  の流れに即して学んでいくことが効果的であることから、従前から、日常生活の指導、遊びの指導、生活単元学習、作業学習などとして実践されてきており、それらは「各教科等を合わせた指導」と呼ばれている。

各教科等を合わせて指導を行うことに係る法的な根拠は、  第130条第2項に、特別支援学校において「知的障害者である児童若しくは生徒又は複数の種類の障害を併せ有する児童若しくは生徒を教育する場合において特に必要があるときは、各教科、道徳科、 、特別活動及び自立活動の  について、合わせて授業を行うことができる」とされていることである。

- |   |             |          |             |
|---|-------------|----------|-------------|
| ク | a 発達や指導     | b 興味や関心  | c 学習や生活     |
|   | d 指導計画や内容   |          |             |
| ケ | a 教育基本法     | b 地方公務員法 | c 学校教育法施行令  |
|   | d 学校教育法施行規則 |          |             |
| コ | a 外国語活動     | b 学級活動   | c 総合的な学習の時間 |
|   | d 総合的な探究の時間 |          |             |
| サ | a 全部又は一部    | b 全部     | c 一部        |
|   | d 特に示す部分    |          |             |

- 4 高知県教育委員会で作成した「高知県の特別支援教育 すべての子どもが輝くために」では、特別な支援を必要とする子どもたちへの切れ目のない支援を実現する仕組みとして次の図を示している。

図中の  ～  に当てはまる語句を、下の1～7から一つずつ選びなさい。



- |             |              |              |
|-------------|--------------|--------------|
| 1 個別の教育支援計画 | 2 個別の移行支援計画  | 3 アセスメントシート  |
| 4 つながるノート   | 5 就学時引き継ぎシート | 6 キャリア・パスポート |
| 7 支援引き継ぎシート |              |              |





- 5 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄をマークしてください。例えば、解答記号  と表示のある問いに対して b と解答する場合は、下の（例）のようにアの解答欄の  b  をマークしてください。

（例）

ア	<input type="radio"/> a	<input checked="" type="radio"/> b	<input type="radio"/> c	<input type="radio"/> d	<input type="radio"/> e	<input type="radio"/> 0	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	<input type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7	<input type="radio"/> 8	<input type="radio"/> 9	<input type="radio"/> .	<input type="radio"/> -	<input type="radio"/> ±
---	-------------------------	------------------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------

なお、一つの解答欄に対して、二つ以上マークしないでください。

- 6 筆記審査（専門教養）が終了した後、解答用紙（マークシート）のみ回収します。監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。